

関西支部第 17 期定時総会，第 1 回講演討論会

日 時：2009 年 5 月 7 日（金） 13:00～18:30

会 場：同志社大学 今出川キャンパス 寧静館（N 館）5 階会議室

http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_campus.html

Tel.075-251-3254

総 会：13:00～13:30

第 1 回日本伝熱学会関西支部講演討論会：13:30～17:25

特別講演会 13:30～14:30

久角 喜徳 氏（大阪大学）

「会社生活 37 年間のキャリア総括と 3C & 3E の融合」

概要：大阪ガスに入り 37 年間、LNG 冷熱利用やガス製造プラントなど 3C のスピリッツをもって開発に取り組み、3E のスペシャリストになることを目指してきた。ここでは、学会活動も交えて、その間の多くの失敗や貴重な経験の一部を語りたい。

（3C:Change, Create, Challenge, 3E:Enthalpy, Entropy, Exergy）

第 1 回日本伝熱学会関西支部講演討論会

14:45～15:35

胡内 勝彦 氏（関西電力）

「次世代電力網に関する国内外の現状と動向について」

概要：米国オバマ政権のグリーン・ニューディール政策を発端として、世界中で次世代電力網「スマートグリッド」に注目が集まっている。本講演では、次世代電力網に関する海外（欧州、米国など）と日本の現状と動向についてご紹介する。

15:40～16:30

後藤田 浩 氏（立命館大学）

「カオス理論に基づく燃焼ダイナミックスの決定論的特徴の解明とその工学的応用」

概要：本講演では、複雑な燃焼ダイナミックスの取り扱いに対するカオス理論の有用性や、カオス理論が工学的な応用に対してどのように寄与するのかを、希薄予混合ガスタービン燃焼器で発生する不安定燃焼の研究内容を例に紹介する。

16:35～17:25

平山 朋子 氏（同志社大学）

「中性子反射率法による固液界面のナノ構造解析とトライボロジー研究への応用」

概要：壁面における伝熱・流れ特性の把握において、固液界面の構造に関する情報は、一つの大きな手掛かりとなるであろうと推察する。本講演では、中性子反射率計を用いた固液界面の分析法とその成果を紹介する。併せて、講演者の専門分野であるトライボロジー（摩擦・摩耗・潤滑）分野における近年の取り組みや成果に関し、新たな知見を交え、幅広く概説する。

懇親会

同志社大学寒梅館 1 階

アマーク・ド・パラディ寒梅館 Tel.075-251-0880

参加費:5,500 円